


# くい文化センターだより 高原のそよ風


TEL(0847)32-7138  
FAX(0847)32-8406



暑中 お見舞い申し上げます

美しい色と音で多くの人を楽しませてくれる花火。。。  
花火は夏の夜空を花開かせてくれる風物詩。。。  


コロナ禍ではありますが、“思い出づくり”ができる夏となりますように祈っています。

皆さま 健康には気を付けて  
暑い夏をのりきりましょう。  


## 主催講座開講式

### [和太鼓叩いて健康づくり]



今年から始まった講座です。健康づくりができるようにリズムよく叩きました。

### [レザークラフト入門]



講師の分かりやすい説明を受け、作品製作に夢中で取り組みました。

### [クラフトあらかると]



材料のPPバンドを切るところから始め、出来上がりを想像しながら楽しく受講しました。

### [伝統の和に親しもう]



「型絵染」「水引」「古布」3種類を学ぶ講座です。今回は型絵染の型紙作りに挑戦しました。

豊かな里山のシンボル

## 久井の学び ヒョウモンモドキ



【飼育による保全の取り組み】～絶滅を防ぎ、復活させるための大切な取り組み～  
ヒョウモンモドキは、数が少なくいつ絶滅してもおかしくない状況にあるため、飼育して繁殖させる取り組みが進められています。

目的は、下記の3つです。

- ①万一の絶滅に備え、チョウを飼育下で維持する
- ②チョウの遺伝的な多様性を確保する
- ③自然にはなかなか回復しないため、飼育したチョウを離すことでチョウの再生を促す(再導入・補強)

チョウなど生きものを守ることは、本来生息地そのもので進めることが重要ですが、ヒョウモンモドキのように、絶滅寸前の生きものを守っていくためには、どうしても人工的に飼育することが重要になります。

自然観察園の協力のもと、観察園内に飼育ケージを設置し、年間を通じて飼育しています。ケージ内は、いくつかの部屋に分けられ4～5カ所のヒョウモンモドキが区別され、飼育されています。

ヒョウモンモドキは「種の保存法」の指定種であるため、飼育に当たっては国に許可を申請し、計画的に実施しています。

かつて生息していた場所の環境を復元し、チョウを放し、復活させることに成功しています。

## 久井図書館から

\*講座 「体験!電子図書館」～使った方がない方も、もっと便利に使いたい方も～

- ・日時：8月23日(月) 14時00分～15時00分
- ・場所：久井コミュニティセンター 研修室
- ・対象：三原市立図書館利用者カードをお持ちで、三原市内に在住または通勤・通学されている方

- ・定員：8人
- ・申し込み：8月22日(日)までに久井図書館へ  
電話(0847)32-7138
- ・持参物：図書館利用者カード、スマートフォンまたはタブレット端末またはノートパソコン

\*お話し会 8月21日(土) 13時30分～  
読み語りボランティアさん

**※新型コロナの感染状況によっては中止する場合があります**

\*休館日のお知らせ

- ・毎週火曜日と祝日[3日、8日、10日、17日、24日、31日]